

激変する時代環境の中で独自の道を切り開く、独創的企業の挑戦と現場に触れる

2023年再開!現場見学「異業種・独自企業研究会」

- AI & IoTなどデジタル化、GX時代、科学技術本流の画期的変化の時代の日本のイノベーションを考える -

と き ・ 訪問見学先

講師とご講演テーマ

1

日本ゼオン(株)

見学先 総合開発センター(神奈川県・川崎市)

2023
9月14日(木)



総合開発センターを視察した中野成夫氏(左)

『日本ゼオンのビジョン、研究開発と技術革新』

日本ゼオン(株) 代表取締役会長 田中公章氏

日本ゼオンは1950年、塩化ビニル樹脂の国産化を目的に誕生。日本初の合成ゴムの生産を始めた、戦後創業の化学企業。戦後復興への化学の無限の可能性に賭けた先人たちの希望と決意が託されて誕生。ゼオ(Geo)はギリシャ語で大地、「エオン(Eon)は永遠。「ゼオン」は「大地から原料を得て永遠に栄える」の意味。日本発の夢の素材、単相ナノカーボンの世界初の量産技術を確立。今回の訪問先「総合開発センター」は、同社の研究開発の拠点。



田中公章氏

2

DIC(株)

見学先 総合研究所、美術館(千葉県・佐倉市)

10月6日(金)



総合研究所 提供

『DICの未来戦略と独自路線の追求』

DIC(株) 執行役員 R&D統括本部長
有賀利郎氏

DICは印刷インキ、有機顔料、PPSコンパウンドで世界トップシェアの化学メーカー。2008年、大日本インキ化学工業から社名変更。創業以来の上記3事業の下、PPSコンパウンド、液晶材料、工業用粘着テープ、機能性顔料、包装用接着剤、アクリル樹脂、ウレタン樹脂、エポキシ樹脂、フッ素化学品、不燃化粧板、加飾フィルム、繊維着色剤、特殊磁気テープ他、幅広い事業を展開。総合研究所に隣接し、里山を忍ばせるDIC川村記念美術館を運営。



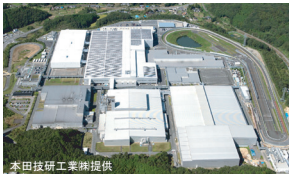
有賀利郎氏

3

本田技研工業(株)

見学先 埼玉製作所 完成車工場(埼玉県・寄居町)

10月31日(火)



本田技研工業提供

『ホンダのものづくり革新』

本田技研工業(株) 埼玉製作所所長
軸屋勇治氏

本田は1948年の創業以来75年間に渡り、本田宗一郎が大切にしたい「夢」を原動力に、より自由でより便利でより楽しいモビリティを実現するため、二輪・四輪・ジェット機などの分野で革新的技術・製品開発に挑戦してきた。埼玉製作所では、現場の量産ものづくり実行力を強めとし、電動車含む多機種混流生産を具現化している。本田は、日本が誇る生産現場力にデジタル技術や環境負荷低減技術を掛け合わせ、更なるものづくり革新・次世代工場システム構築に挑んでいる。



軸屋勇治氏

4

日本アイ・ビー・エム(株)

見学先 東京基礎研究所(神奈川県・川崎市)

11月29日(水)



IBM提供

新川崎・創造のもり内
NANOBIIC(ナノビック)

左:IBM開発の量子コンピュータ

『量子コンピューター開発への夢と苦闘』

- 量子コンピューターが開く未来 -

日本アイ・ビー・エム(株) 副社長 執行役員 CTO 森本典繁氏

1993年、IBMは会長 CEOにガースナーを迎え、メインフレーム主体の事業から黎明期のクラウドを活用。ソフト事業に転換。「崖っ淵からの生還」を果たした。しかし巨額累積赤字に陥った1993年から驚異的に業績回復し、世界初量子コンピュータを発表する2021年の28年間、IBMは特許出願数毎年世界一。しかも量子コンピュータの開発生産は殆どIBM自身に依る。IBMは技術開発とものづくりの重要性を忘れたことは一度もないという。IBMは製造業から離脱していない!



森本典繁氏

5

(株)東芝

見学先 府中事業所(東京都・府中市)

12月21日(木)



東芝提供

『DXからQXへ: 持続型社会の実現へ向けた東芝の変革と挑戦』

(株)東芝 執行役員 首席常務 CTO兼CISO 佐田豊氏

東芝は優れた技術力でカーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー等の深刻な社会課題解決に対して、デジタル技術、将来は量子技術を活用してソリューションを創出していくことを経営方針に掲げている。これら社会課題を解決する革新的技術やソリューション、CPS基盤とデジタルサービス、そして量子暗号通信などの量子ソリューションの研究開発の取組み、及び革新的技術を次々と生み出す研究開発の体制やプロセスについて紹介する。



佐田豊氏

6

JR東海

見学先 リニア新幹線実験センター(山梨県・都留市)

2024
2月2日(金)



リニア中央新幹線

『リニア中央新幹線実現への夢と苦闘』

東海旅客鉄道(株)(JR東海) 専務執行役員
中央新幹線推進本部 リニア開発本部長 寺井元昭氏

2027年東京-名古屋、2037年名古屋-大阪開業予定のリニア新幹線は、超伝導磁石で車体を浮上させ、時速500kmで東京-大阪間を1時間で結ぶ。1962年に開発を開始し、1997年500km/hを突破。独シーメンスも開発競争から離脱し、日本が世代を重ねて道なき道を切り開いてきた、世界に誇る最先端の独創技術。リニア新幹線車輛に動力装置はなく、また何かの時、人間の反射神経でどうにかなる速度ではないため、運転士はいない。全て地上からシステム制御で運行される。寺井氏はリニア新幹線開発一筋で来られた方。



寺井元昭氏

チ
エ
ア
マ
ン



鈴木一義氏

(独)国立科学博物館
前 産業技術史資料情報センター長
ものづくり日本大賞選考委員
経済産業省「ロボット大賞」選考委員
世界文化遺産特別委員会 委員
※江戸時代以前を含め、日本の科学・技術発展史研究の第一人者。

基本スケジュール

13:10~14:40 講演
14:40~15:10 Q&A
15:20~16:50 現場見学
17:00~18:00 ライトパーティー(メンバー・訪問先幹部の方々との交流の機会)

※ご同業の場合、ご遠慮いただく場合があります
※ 誠に申し訳ありませんが、オンラインでのご参加は出来ません

新経営研究会

<http://www.shinkeiken.com>